

ロシア連邦大統領

ウラジーミル・ウラジーミロヴィチ・プーチン 閣下

貴国が2月24日に、ウクライナへ軍事侵攻し核兵器の使用を示唆した一連の行為は、核兵器を廃絶し、恒久平和を実現しようとする全人類共通の願いを踏みにじり、国際社会全体に深刻な脅威を与える行為を選択したものであります。

核兵器によって自国の安全を確保することはできません。核兵器がこの地球上に存在する限り、人類に真の平和が訪れることは決してないものと断言をいたします。

広島・長崎の惨禍という世界唯一の体験を有する私たちには、美しい郷土の自然と豊かな文化を守り、平和な未来を次代の子どもたちに引き継ぐ重要な責務があり、この自覚のもと、釧路市は2006年8月15日、市民の総意として「核兵器廃絶平和都市」を宣言し、あらゆる生命の存続に深刻な脅威を与える核兵器の廃絶を訴えているものであります。

ここに、全釧路市民を代表し、貴国の行った侵略行為に対し強い抗議の意を表するとともに、一日も早い平和的解決の道を歩むことを強く要請するものであります。

2022年3月7日

釧路市長 蝦名大也